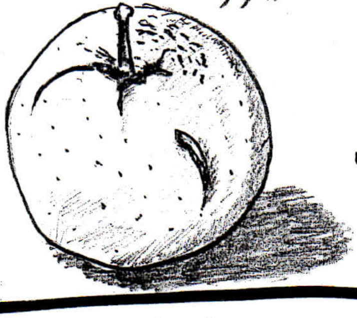
ものがたり

第二百六十九話

長岡市土合3-4-3
有 前田屋
(0258)33-3793

令和3年1月発行

みなさん こんにちは。
大雪になりました。これから二月に向うわけですから心配です。雪おろしをした方も多いと思います。まず、屋根も心配ですが安全にやりましょうね。私も上がりましたが だんだん上が恐わくなって来ます。年を取ったせいと少し残念ではありますが、恐くならなきゃダメなんですよね。歳を取るのだから……。
「♪♪わたしは真赤なリンゴです♪♪」大音量でならしながら、幌をかけたトラックがゆっくり走っています。
そうです。リンゴ売りのトラックです。
「歌が聞えだすころには
「こんちは〜、青森のリンゴ屋でーす」
と、リンゴの皮をむきながら入って来ます。
顔を出すと 有無を言わせず
「は〜い。リンゴ!! うんまいよ〜」
と調子良く、家族にくばります。
「ほ〜ら うめえでねっか〜」
東北なまりがあります。
子供のころ、冬になるとやってくるリンゴ屋さんです。大きなトラックに木箱が高く積み込まれています。手前では大柄なおじさんがリンゴをむいています。今の時代だったら、包丁を持って「玄関までどなり込んでくるんだから110番ものですよね。
「青森じゃ、おめえ達くらいの子供がいっぱいいて、おっ母が帰ってくるのを待っているで〜。このリンゴ、全部売らんと、母ちゃんが帰えってくるなと言うし……」と泣き落しが始まる……
「ほんとは青森だかどこだかわからんけど、まあ、リンゴもうまそうだすけ一箱、買ったこてや……」と父ちゃん。浪花節に弱い。
大きな木箱を開けると中はもみがらでいっぱい!!
「とうちゃん!ほんとうにリンゴがいっぺ入っているのがあけて、リンゴ屋、帰ったぜえ……」急に無口になる父ちゃん……。「ウー」


小さめのキズのある
いびつな形のリンゴが
多い

越州 桜日和

720ml 1,660円

この寒さは特別です。夏はあんなに暑かったのに……。
今年も待ち遠しい春に先がけ 桜日和の発売です。越州シリーズの春の限定品として、毎年ご好評をいただいております。
春を思わせるやさしい、ふあ〜、とした甘口の吟醸酒です。
春の山菜にぴったりのお酒です。お花見まで待てない、みなさんに二月中旬にお届けします。ご予約をお願いします。

桜もよう

純米大吟醸無ろ過生原酒
「長者盛」蔵元謹醸 720ml 2,100円

長者盛の蔵元 新潟銘醸から、春の酒「純米大吟醸むろか生原酒 桜もよう」が発売となります。今年も中止となりました酒の陣での限定販売予定でーした特別醸造のお酒です。華やかで香り高い味わいのしぼりたて生原酒です。二月上旬発売予定

風土が人と酒を育み
酒は人をつなぐ
酒 前田屋